

日本IGF2023会議準備のための案

前回のチーム会合で、上記の件についてボランティアを集め、案を考えて次回の(4月17日)活発化チーム会合で方向性を示すこととなっております。(=>山崎、加藤で取りまとめ)

ボランティアの参加者を得て、次のような案を作りました。17日のチーム会合では、この方向性で議論を進めさせていただきたく、事前にメールさせていただきます

今年度は、10月のIGF2023京都会議が控えており、日本での活動も特に重要な時期でもある。それを念頭に、例年通り国内でのIGF会議を行うこととしたい。

IGF2023京都会議が10月であることもあり、準備期間も短いこと、京都会議への助走の意味もあり、啓発活動の要素も重視しつつ、**取り扱うテーマも(日本でのNRIの姿の実現目標にとらわれず、)IGF2023京都会議を見据えたもの**としたい。

- 開催時期： 9月上旬(または8月下旬)
- 会期： 昨年同様2日間
- セッション数：各日2(~3)セッション → Day 0で何かを行うか？(継続検討)
- 形式： 昨年同様会場現地参加とリモート参加のハイブリッド
- 主催： 活発化チーム
- 使用言語： (準備の問題もあり)日本語ベースとする
- その他： 手話通訳の提供、スクリプトの表示は行わない方向としたい
- プログラム全体の考え方
 - 原則として、**京都会議で取り上げられるセッションの事前披露とする。**
 - 原則として、セッションの募集や選定手続きはしない。
 - プログラム全体の構成、セッション採否は別途検討
 - セッション数が少ない場合は、IGF2023のセッション公募に応募した提案であればセッションとして採用を検討する
 - セッション数が多い場合は、会期またはイベント時間を延長(またはプログラムに追加するセッションを選択するか)
 - IGF2023 京都会議の紹介や説明のセッションを行う(継続検討)
- 準備委員会
 - 4/17時点のボランティアとして、当面次の各氏で進める(五十音順):加藤、高松、堀田、前村、山崎
 - イベント当日の運営体制/運営メンバ(会場対応・オンライン対応)は別途検討し、メンバーを募集する